

米国企業業績の動向と株式市場

作成日 2020年2月7日

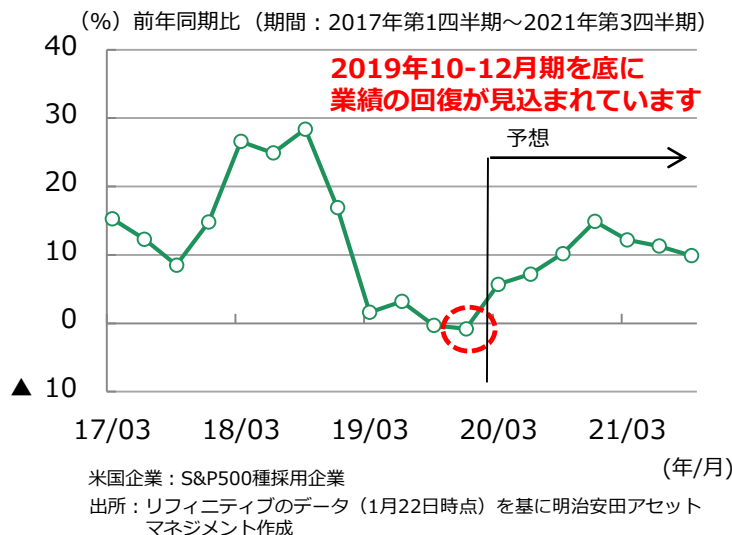
米国企業の2019年10-12月期決算は、設備投資の不振が影響し小幅減益となりました。今後は、当四半期を底に堅調な業績の回復が予想されています。

前年対比で小幅減益

- S & P 500種採用企業の約半数が2019年10-12月期の決算発表を終え、EPS（一株利益）は前年同期比 ▲1.1%と小幅な減益となっています（注1）。前年同期並みのEPSを見込んでいた事前の市場予想に近い結果となっています。
- 米国の経済統計では、底堅い雇用環境により個人消費が好調となる一方、米中通商問題をめぐる先行き不透明感から設備投資は伸び悩んでいます。企業決算でも、同様の傾向がみられます。

注1：リフィニティブ集計（1月31日時点）

図1 米国企業のEPS推移と予想



「内需」や「個人消費」関連の業種が好調

- 業種別では、米国内での売上比率が高い「公共事業」や「金融」が前四半期に続き好調となった他、個人消費関連の「コミュニケーション」が堅調な増益率となりました。
- 一方、「エネルギー」が大幅な減益となった他、「資本財」や「素材」などの設備投資に関連する業種においては、米中通商問題の行方が不透明な中で企業の設備投資意欲が低迷し、厳しい決算となりました。

業種別の増益率

○上位5業種

業種名	増益率
公益事業	+18.8%
金融	+6.7%
ヘルスケア	+6.6%
コミュニケーション	+6.1%
情報技術	+4.6%

●下位5業種

業種名	増益率
エネルギー	▲42.5%
資本財	▲10.6%
素材	▲10.2%
一般消費財	▲9.2%
不動産	+1.4%

※ S & P 500種採用企業の業種別の2019年10-12月期の前年同期比EPS変化率
出所：ファクトセットのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

「内需」関連企業が牽引し、今後の業績は回復へ

- 2019年に市場参加者の懸念材料であった米中貿易協議は、すでに「第一段階」の合意が署名されました。「第二段階」に向けた交渉は長期化すると予想しますが、米中関係悪化の可能性は低下しているとみられます。企業業績は当四半期（2019年10-12月期）を底に堅調な回復が予想されています（図1参照）。
- 中国の新型肺炎（新型コロナウイルス）拡大による世界経済への影響が懸念されています。世界経済の影響を受けやすい業種に関しては、当面は逆風にさらされる可能性があります。米国内での売上比率が高い「内需」関連企業は引き続き堅調な業績を予想します。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。

●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。

米国企業業績の動向と株式市場

<ご参考> 主要な個別企業の2020年10-12月期業績

企業名(ティッカー)	業種	予想EPS(ドル)	実績EPS(ドル)	予想との比較※
マイクロソフト(MSFT)	情報技術	1.32	1.51	○
フェイスブック(FB)	コミュニケーション	2.52	2.56	○
アマゾン・ドット・コム(AMZN)	一般消費財	4.03	6.47	○
アルファベット(GOOG)	コミュニケーション	12.53	15.35	○
エクソンモービル(XOM)	エネルギー	0.43	0.41	×
アップル(AAPL)	情報技術	4.55	4.99	○

※実績EPSが予想EPSを上回った場合は○、下回った場合は×

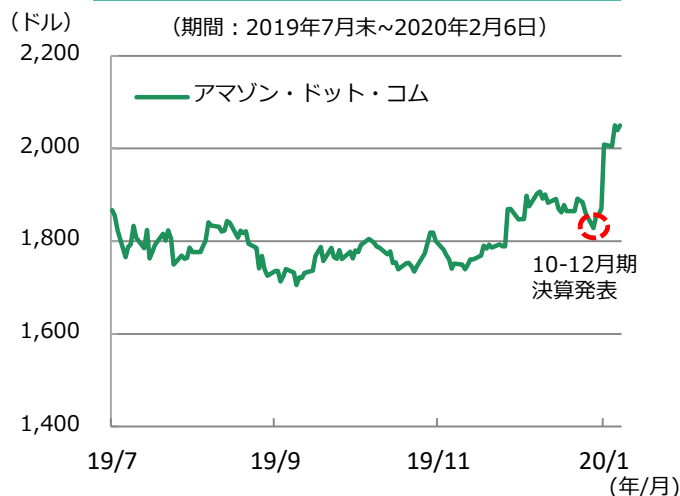
出所：リフィニティブのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

アマゾン・ドット・コム(ティッカー：AMZN)

- アマゾン・ドット・コムの2019年10-12月期決算は、EPSが6.47ドルとなり、アナリスト予想(同4.03ドル)を上回りました。一部で懸念されていた成長鈍化観測を払拭する好決算となりました。
- 同社の有料プライム会員は全世界で1.5億人を超えるまでに成長し、世界トップシェアを誇るクラウドサービス事業(AWS)も好調に推移しています。
- 決算発表後は、株価が大きく上昇したことで時価総額が1兆ドルを超え、「1兆ドルクラブ」(注2)の仲間入りを果たしました。

注2：時価総額が1兆ドルを超え「1兆ドルクラブ」入りしたことがある企業は、アマゾン・ドット・コムの他は、アップル、マイクロソフト、アルファベット。

株価推移



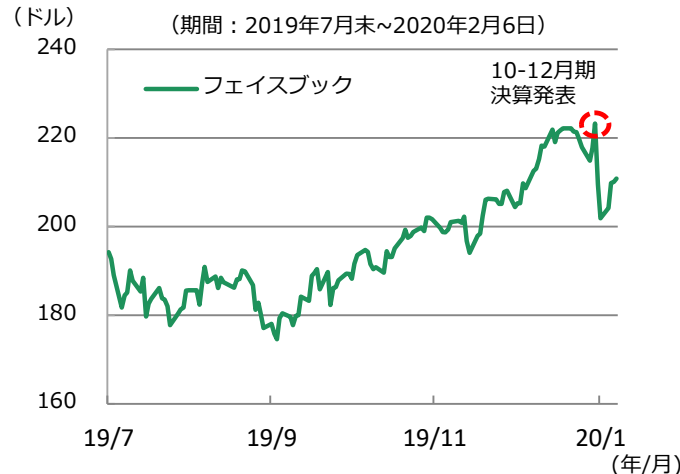
出所：ファクトセットのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

フェイスブック(ティッカー：FB)

- フェイスブックの2019年10-12月期決算は、EPSが2.56ドルとなり、アナリスト予想を上回る決算となりました。
- 良好な決算発表となる一方で、会社からは、「主力事業が成熟期を迎えていることに加えて、世界的なプライバシーに関する規制の強化などの逆風にさらされている」とのコメントがありました。
- 事業環境を懸念する同社のコメントもあり、決算発表後に、株価は一時10%近い下落となりました。

※上記の個別銘柄への言及はあくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、個別銘柄の推奨または投資勧誘を目的としたものではありません。

株価推移



出所：ファクトセットのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。